



## ひなち地域ゆめづくりビジョン

平成23年3月

### はじめに

ひなち地域は名張市中央から南東に2kmの比奈知公民館を中心に位置し、平成15年「ひなち地域ゆめづくり委員会」が設立されました。歴史・文化の農村集落3区と新興住宅団地3区との6区5200人余の人口が一つになり連携・融合合体の特性を生かし地域発展に寄与、「住民が自ら考え、行動を起こし安全・安心して暮らせる地域づくり、まちづくり」活動を進めてまいりました。

この度、地域全ての住民の声を反映させ「地域計画策定部会」を立ち上げ着手、一年半かけまして今日「ひなち地域ゆめづくりビジョン」を策定いたしました。

**基本理念**：「住民の視点から人権が保障され安全・安心に暮らせる

**福祉の増進と生活環境の実現**」を基に**5つの構想**を掲げました。

5つすべてに共有できる取組みが望ましいが農村と住宅地の明確に区分した取組も一部表現しています。又、行政主導による地域周辺に高齢化対策として社会福祉事業の介護施設特別養護老人ホームの新設を強く要請いたします。

**ひなち地域ゆめづくり委員会**



# ひなちゆめづくりビジョン

## 基本理念

住民の視点から人権が保障され 安全・安心に暮らせる福祉の増進と生活環境の実現

5つの構想

歴史・文化の農村集落 3 区と新興住宅団地 3 区の全 6 区が 一つに融合・連携のまちづくり

### 1. 自然との共生・共存による保全と活用（地域と行政の協働）

----- P 3

- 東山ふれあいの森整備と活用。交流拠点の位置づけ。  
遊歩道・薬草の栽培。ハイキング・オリエンテーリング・アスレチック等の企画

### 2. 地域の歴史・文化の発掘、尊重と活用（地域で）

---P 4, 5

- 豊富な神社仏閣の歴史・文化の地域住民への紹介
- 既存祭りなどに多くの住民の参加PRと推進

### 3. 老若男女の居場所や健康づくり等の環境づくり（地域と行政の協働）

----- P 6

- 現存施設の整備と有効活用（親水公園、比奈知大橋河川敷き、富貴の森公園他）
- 新規施設開設（スポーツ広場の新設、富貴ヶ丘地区フリーマーケットの開催）

### 4. 安全・安心で快適なまち（地域で）

--P 7, 8

- 防犯パトロール隊の設立と活動、治安意識の向上
- 防災意識の向上と組織との連携、合同訓練等の充実

### 5. コミュニティセンターの新設とライフサポートセンターの設立（地域と行政の協働）

----- P 9

- 設備場所は富貴の森公園内に
- 富貴ヶ丘 3地区の協働意識の醸成と向上

### ☆ 行政主導による介護施設

----P 10

地域周辺に特別養護老人ホームの新設要請

### ☆ ひなちビジョン策定部会検討経過

----P 11

# ひなち地域ゆめづくり委員会 ビジョン提案まとめ

## ☆構想1 自然との共生、共存による保全と活用

### 目的

市有財産である「東山ふれあいの森」の有効活用と、整備、保全等の維持管理を名張市と協働する。

### 対策

- 遊歩道、駐車場の整備、四季折々の樹木・草花の整備、薬草栽培等を順次開拓。
- 運営企画 ① 有料記念植樹受付。
- ② 薬草のPRをする。…漢方薬販売・薬膳料理提供。
- ③ ハイキングコース、オリエンテーリング、アスレチックス等の企画。

### 効果

- (1) 名張市の中心地に在り、広大な環境、青山高原より近く、{自然に馴染める四季の樹木・草木・薬草・花の公園} {手軽なハイクコース} として認められれば、市民のみならず、近郊、県外からも呼び込める。
- (2) 四季の花草木・薬草などは、子ども達の教育・学習効果を期待、教育現場にもなる。
- (3) 入学、祝い年令等の記念日の植樹により、この森が心の故郷の様に思って貰えれば、本人や家族、友人達が再来場する循環サイクルが期待できる。

### 課題

- (1) 遊歩道の整備、駐車場の整備等、名張市の初期投資が必要となる。
- (2) 緑の募金事業への申請と認可。
- (3) 緑化推進と維持管理等の事業を、ゆめづくり委員会に「東山緑化推進委員会」を設立、市と協働で基本計画を立案し、遊歩道、駐車場の整備後「東山自然公園運営管理委員会」に移行することになるが、継続的に活動できる人材集めが課題。

### 役割分担

項目	各区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
東山ふれあいの森の活用	人材探し	「東山緑化推進委員会」を設立し、市と協働で基本計画、遊歩道、駐車場の整備後「東山自然公園運営管理委員会」に移行する（市の協力が前提です）。	

## ☆構想2 地域の歴史・文化の発掘・尊重と活用

### 目的

ひなち地域農村地区には、歴史・文化の象徴である神社・仏閣が多く在るが、少子高齢化の影響で伝統行事の運営が難しくなってきた。他方、富貴ヶ丘住宅地区にはそのような施設がないので、住宅地区住民、他地区からも参加を促し、伝統行事の存続発展を考える。（参詣者が増え、賑わいが増せば祭礼・行事の内容も自然に変化してくる。）

### 対策

- (1) 各神社・仏閣の行事を主催する住民（氏子・檀家）の了承と協力を得る。
- (2) ゆめづくり委員会のホームページに掲載し、各神社・仏閣の伝統行事等をひなち地域内外に紹介する。
- (3) 新しい祭りをつくる。既存の祭りを一か所に集めて、新しい祭りをつくる。  
(企画例：獅子舞フェスティバルを富貴ヶ丘で開催)

### 効果

農村地区の伝統行事の開催人員補強に貢献すると共に、富貴ヶ丘地区住民にとっても伝統行事参加の楽しみが増し、賑わいが増えれば名張市内外からの参詣にも期待できる。

### 課題

- (1) 当屋（頭屋）のしきたりなど伝統的なものがあり、氏子・檀家以外の人達の参加に対する不安感など問題がある。
- (2) 費用分担問題（現状では氏子・檀家の方が応分に負担されていますが、住宅地区住民は経験のない方が多く、一般参加を勧めても費用負担があれば出足が鈍ることが予想される。京都、奈良などの伝統行事に外国人までも参加させている事例を参考に出来ないか）

### 役割分担

項 目	各 区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
伝統行事への地区外住民の参加の可否を検討	①農村地域各代表者 氏子・檀家他関係者 で行事の将来性を検討		
各神社・仏閣毎のホームページ作成（参詣しなくなる様な紹介を工夫し、伝統行事をPR）	農村地域各代表者 氏子・檀家他関係者	公民館ホームページ担当委員、ボランティア委員	ホームページ作成プロジェクト実施中。



滝之原・若子祭



上比奈知・うちわ取り



下比奈知・名居神社 (獅子舞)

## ☆構想3 老若男女の居場所や健康づくり等の環境づくり

### 目的

世代間交流の企画や場所の確保・健康づくりの企画や場所の確保により、高齢者の健康推進、子育て世代への応援など、地域活動の活発化を図る。

### 対策

- ・ 現存施設の有効活用①ダム湖・親水公園（水遊び・ホタル狩り等の企画）  
②比奈知大橋河川敷き（水仙まつり・キャンプ・川遊び等の企画）  
③富貴の森公園（遊具の設置・合同イベント等の企画）
- ・ 新規の施設開設（スポーツ広場の新設、富貴ヶ丘地区でフリーマーケットの開催）

### 効果

地域活動の活発化と施設充実により、高齢者との世代間の交流が図れて子育て支援にもなり、若者の入居者増を期待。

### 課題

- (1) 既存、新規施設共に、管理（管理人設置費）、整備費用を如何にするかが問題。
- (2) 下比奈知でも青空市場が開催されており、重複しない様な企画が必要

### 役割分担

項目	各区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
ダム湖・親水公園の活用	各区・自治会協働	木津川ダム管理と協働で活動	
比奈知大橋河川敷き	下比奈知区で企画	企画内容により参画	
富貴の森公園遊具充実	富貴ヶ丘3地区協働		費用援助
富貴の森公園イベント	富貴ヶ丘3地区協働	企画内容により参画	
スポーツ広場を新設	各区・自治会協働	ゆめづくり委員会で活動	費用援助
フリーマーケット	富貴ヶ丘3地区協働	企画内容により参画	

## ☆構想4 安全・安心で快適なまち

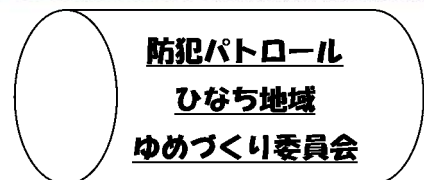
<b>目的</b>	環境、景観、安全、安心、治安、防災等が充実された地域を目指す。
<b>対策</b>	各 区・自治会が中心となり、空き家、空地対策、犬糞防止、(高齢者・独居者)の擁護、治安対策、防災意識の向上と対策などに取り組む。
<b>効果</b>	(1) 地域住民が安心して暮らせる理想郷を目指す。 (2) 住みよい地域として、PRされれば空地に新規入居者が増え若返る。
<b>課題</b>	治安、防災等は単区のみならず、地域全体としても共同効果もあるので、各 区・自治会の足並みを揃える事が課題
<b>役割分担</b>	

項目	各 区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
空家	・各 区・自治会活動で管理し善処する。		・家主が不明の時は、市役所から家主に通告・通知を頂きたい。
空地	・各 区・自治会活動で管理し善処する。		・年2回草刈りの義務付けを徹底する事。8月までに1回目の代執行が間に合う時期の通告・通知を頂きたい。
危険個所	・各 区・自治会活動で危険パネル等の更新、改修。		・立ち入り禁止区域各種注意・看板の配布充実。
安心	<p>・民生委員を核に独居高齢者の見守り体制を確立。本人と見守り者との間で、<u>今朝も元気サイン</u>を決めて、屋外から安否確認をする。</p> <p>・高齢者を含めた住民同志の交流場所・機会を増加する(集会所、公民館の活用)。</p>	<p>(参考)</p> <p>今朝も元気サインの例</p> <p>①表から見える窓開け。 ②玄関灯の消灯。 ③鉢植えの場所変え。</p>	<p>(参考)</p> <p>見守り者の確認のポイント</p> <p>毎日サインを確認し、元気サインの無い時に声をかけるが本人への負担軽減の為、さりげなく行う。</p>
	・高齢者を含めた住民同志の交流場所・機会を増加する(集会所、公民館の活用)。	・各地区の集会所を活用、相互交流が出来る様な行事等、高齢者の活性化と健康増進を図る。	<p>・高齢者用非常時通報装置等の制度の周知、徹底。</p> <p>・上比奈知区と富貴ヶ丘地区にAED設置。</p>



項目	各 区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
防犯	・各 区・自治会活動内で防犯協力者を募り、ウォーキング、犬の散歩(マナーの向上と犬糞防止)、買い物等に、防犯腕章を着用する。	・防犯腕章をゆめづくり委員会で纏めて作成し、各 区・自治会活動に無料配布又は有料斡旋する。	
	・各家庭の門灯の消灯時間の延長を推進。 (住宅が密集する富貴ヶ丘地区主体に推進)	・現行の防犯パトロール車両運行の継続。	
	・防犯関連情報は迅速に住民に伝達する。	・入手防犯情報は、他の地区に迅速に伝達する。	・防犯関連情報を迅速に伝達する。
防災	①東南海地震の警告時期。 ②耐震強度の弱い家屋が多い。 ③超高齢者地域で有る等住民の防災意識向上が必要。 ④高齢者、独居老人等の情報を把握整理し、防災組織を確立し、定期的(年1～2回)に防災意識の徹底と、防災訓練等を実施、災害に備える。	・大規模災害等の非常時にも対応出来る様に、各 区・自治会活動の防災組織(部隊)と連携し、定期的にひなち地域合同訓練を実施する(1～2年に一回)。	・ひなち地域への防災倉庫の新設・各 区・自治会への防災用具の整備、拡充の援助を頂きたい。
	①家具の転倒防止用具(器具)の設置推進。 ②火災警報装置の設置推進。 ③各戸に防災常備品の常備推進。	・防災倉庫の新設と防災用具一式の整備と充実を図る。	

<参考> (防犯腕章例)



## ☆構想5 コミュニティセンターの新設とライフサポートセンターの設立

### 目的

富貴ヶ丘3地区には公共施設が無く、比奈知公民館では老人には距離が有り、参加者も少なく、富貴ヶ丘住宅3地区のコミュニティーセンターを新設し住民同志の交流を図る。

### 対策

平成22年4月、すずらん台に福祉施設「サロンきずな」が全額厚労省の助成で設立され、視察させて頂いた。当地区にも福祉の拠点として同様施設を第2モデルとして実現したい。

### 効果

- (1) 富貴の森保育園とのコラボレーション等世代間交流も図れ、子育て支援も期待。
- (2) 富貴ヶ丘3地区住民の相互交流と地域社会の活性化。

### 課題

- (1) 県、国の行政予算にかかっているが、名張市の協力なくしては実現不可。
- (2) ゆめづくり委員会の中に受け皿となるライフサポートセンターの設立が必要となるが、継続的なボランティアの人材発掘が必要。
- (3) ボランティア活動での維持はできるが、管理費用は地元負担となる。

### 役割分担

項目	各区・自治会活動	ゆめづくり委員会活動	名張市活動
コミュニティーセンター	富貴ヶ丘3地区 協働意識の醸成	ライフサポートセンターの 設立	関係行政との折衝と 資金援助

# 行政に要請

## 行政主導による介護施設、地域周辺に特別養護老人ホーム新設の要請

<b>● 特別養護老人ホームの新設</b> 行政主導による、専門業者と行政。	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 65歳以上の高齢者数が増え急速に高齢化が進んでいる。 ひなち地域70歳以上はH22年度17.9%(927/5188)の927人</li> <li>● 老人介護施設のような福祉施設が充実していない。</li> <li>● 今後に不安を抱く住民が多い</li> <li>● 地域住民の声・ニーズが強い（アンケート調査結果より）</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富貴ヶ丘地域に特別養護老人ホーム等の介護施設がない</li> <li>● 富貴の森保育園に隣接するグラウンド周辺を希望する。</li> <li>● 財源確保の問題</li> </ul>
目的と効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域周辺を希望する富貴の森保育園に隣接する好立地を生かし、高齢者らが運動を楽しんだり、子どもと触れあう場「介護予防・介護・多世代交流センター」を目指し、世代間交流の拠点作りという、先端的取組みが可能、安心できる。</li> <li>● 雇用情勢の厳しい中、施設を開設する事により雇用の創出となり地域の活性化に繋がる。</li> <li>● ホームヘルパー講習会等を開催することにより各人の資格取得に貢献できる。</li> <li>● 災害時の避難場所</li> </ul>
対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別養護老人ホームの新設（80床） サービスの充実、福祉拠点、誰もが利用できる運動場等 ホール喫茶、読書、カラオケ、映画鑑賞スペース等</li> <li>● 施設の名称：フレンズハート 富貴の杜                   ハッピーフレンズ 富貴の森</li> </ul>
問題点 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門業者と行政との連携にてゆめづくり委員会で介人は困難であることから、今回は、<u>地域住民の切なる声</u>として行政へ要望します。</li> <li>● 行政の先端的窓口の設置の要望</li> <li>● 実現可能とするため、「行政と地域と専門業者が協働で対等な取組み」</li> </ul>

## ひなちビジョン策定部会検討経過

2009年	平成21年 7月	ビジョン策定部会委員仮選出
	平成21年10月11日	行政より説明会開催
	平成21年12月 4日	共有課題・農村集落 新興住宅団地
2010年	平成22年 1月15日	住民へのアンケート調査
	平成22年 2月26日	引き続きアンケート調査促進
	平成22年 3月18日	アンケート整理まとめ
	平成22年 4月 7日	アンケート整理まとめ
	平成22年 4月14日	アンケート整理まとめ
		この間各区・自治会協力体制
	平成22年 5月16日	ビジョン策定（地域計画策定部会）新設、総会で承認17名、ゆめづくり委員会組織内
	平成22年 7月 9日	基本理念と6つの構想再確認
	平成22年 8月 9日	6つの構想分科会にて討議
	平成22年 9月 6日	委員増員募集結果39名
	平成22年10月 4日	分科会（専門部会）に仕分け
	平成22年10月25日	分科会活動
	10月～23年1月迄	各分科会2回～7回実施 会合開催・現地視察・勉強会
2011年	平成23年 1月23日	6つの分科会の報告会
	平成23年 2月 6日	中間まとめ調整
	平成23年 2月22日	まとめ編集作業、6つの構想 を5つの構想（5と6合体） とする。★大きな別提案として行政主導による （特別養護老人ホーム）施設の新設要請
	平成23年 3月 6日	全員で検証
	平成23年 3月14日	検証後修正作成文再検証
	平成23年 3月29日	理事会にて承認
	平成23年 3月31日	策定完成、印刷
	平成23年 4月30日	総会で承認、次期へ引き継ぎ